☆READ 2023☆第４弾

先生方によるおススメ本紹介企画　(原稿回収)高ⅠF大内、川原・高ⅠH椎名・高ⅠI梅田　(原稿入力)高ⅠF川原　(POP 作成)高ⅠF大内

「あなたのルーツを教えて下さい」

高校2学年主任・英語　松本康伸

安田菜津紀/著・(株)左右社/発行

私にも人種差別があるのかもしれません。入管法改正の議論を前にその偏見から自分は完全に自由なのかと自問します。相手を知り、その人としての温もりを感じることで少し解放された気持ちになりました。著者は近作でご自身のルーツをさらに遡ります。

「大河への道」

高校2学年Ａ組担任・地歴　香取義人

立川志の輔/著・(株)河出書房新社/発行

この本は、私の生まれた佐原（現，香取市）を舞台に描かれています。佐原出身で『大日本沿海輿地全図』を作成した「伊能忠敬」を大河ドラマにしようと、市役所の人々が力戦奮闘するストーリーで、立川志の輔さんが『大日本沿海輿地全図』を見た際の感動を落語として創作したものです。中井貴一さん主演で映画化もされている本ですので、ぜひ読んでみて下さい。

「答えは必ずある　逆境をはね返したマツダの発想力」

高校2学年Ｂ組担任　兼　情報科主任・情報　白井稔実

人見光夫/著・(株)ダイヤモンド社/発行

世界の自動車産業は内燃機関よりも易しく製造できEVにシフトし、日本もその流れに乗っている。しかし、内燃機関にはまだまだ改良の余地が残っていると信じているエンジニアたちがいる。そのストーリーに触れて気づいたことがある。どんなに複雑な問題であっても本質は何かを見失わないこと。また、本質を見間違えないことが大切だということ。

「もっとずるいいきもの図鑑」

高校2学年Ｃ組担任・地歴　伊藤司

今泉忠明/監修・(株)宝島社/発行

『ずるいいきもの図鑑』の第2弾。ウイルスも入ってグレードアップ。食虫植物も掲載。ずるくて、かしこくて、ひきょうで、逃げ足が速い動物から、化けてジッと獲物が来るのを待つ植物まで、76 種類のいきものが登場。

「もものかんづめ」

高校2学年Ｄ組担任　兼　理科主任・理科　和泉洋一

さくらももこ/著・(株)集英社/発行

放送部の大会課題図書であった「もものかんづめ」。ちびまるこちゃんと家族の成長を想像しながら楽しく読めました。短編の「結婚することになった」では、娘が結婚するときの父親の様子が描かれていて、自分自身の娘たちが大きくなって結婚することになったら・・・と、複雑な気持ちになりました。家族で楽しく読める本です。皆さんもぜひ、手に取って読んでみてください。

「着眼と考え方　現代文解釈の方法」

高校2学年Ｅ組担任・国語　重野宏一

遠藤嘉基・渡辺実/著・（株）筑摩書房/発行

本書は半世紀以上前の受験参考書の復刊だが、全く古さを感じさせない。そればかりか、現在の教科書にある作品が取り上げられており、「羅生門」「山月記」「檸檬」などの文学作品も多い。著者は国語学者であることから、正確に文章を読むための方法が論理的かつ丁寧に説明されており、今ある参考書とは一線を画している。

「社会調査の基礎」

高校2学年Ｆ組担任・理科　曽田泰宏

北川由紀彦・山口恵子/著・一般財団法人 放送大学教育振興会/発行

総合探求を行っていく過程で、自分の設定したテーマの内容を深めていくために、調査は欠かせない方法の一つです。本書には普段の生活で目にする社会調査に対する考え方や方法が丁寧にまとめられています。探求の時間を有意義に過ごすため是非一読してみてください。

「親ガチャという病」

高校2学年Ｇ組担任・地歴　稲垣雄一郎

池田清彦・中島義道・和田秀樹・室井佑月・森達也

香山リカ・土井隆義/著・(株)宝島社/発行

昨今「親ガチャ」という新語がバズり始め、共通テストの問題にもそれを想起させる問題が出題されたことは記憶に新しい。本書はそのような若者の間で蔓延っているある種の閉塞感？悲壮感？に着目した書物になっている。

「ぼくのニセモノをつくるには」

高校2学年Ｈ組担任・保健体育　窪谷映美

ヨシタケシンスケ/作・(株)ブロンズ新社/発行

私の大好きなヨシタケシンスケさんの絵本です。「自分」とは何か、高校生の皆さんの視点から読んでもらいたい１冊です。自分のことは自分にしかわかりません。可愛いイラストや感情豊かな主人公に笑いながらも、奥深いものを感じさせられます。

「とてつもない数学」

高校2学年Ｉ組担任　兼　数学科主任・数学　井上敬康

永野裕之/著・(株)ダイヤモンド社/発行

授業に関する数学・定期試験対策・大学受験などに役立つわけではありませんが、数学に関する一つの読み物として大変面白い内容です。数学が持つ様々な「とてつもなさ」に没頭してみてはいかがでしょうか。